

地域自立支援協議会 会議要録

会議名：令和 7 年度第 1 回白井市地域自立支援協議会全体会

日 時：令和 7 年 5 月 15 日（木） 14 時～

場 所：団体活動室 2・3

出席者：鈴木会長、小林副会長、島田委員、大網委員、久保委員、実松委員、高木委員、東坂委員、橋本委員、石田委員、高橋委員、野路委員、中村委員、岡田委員、山本委員、村松委員、久松委員、秋本委員、川野委員（19 名）（以下、敬称略）

事務局：石田課長、工藤、久保田、浦尾、高橋（障害福祉課）

：飯ヶ谷、甲斐、渡邊（基幹相談支援センター）

欠席者：石川委員、山崎委員、椿委員

傍聴者：3 名

資 料：資料 1 会議次第
資料 2 委員名簿
資料 3 年間予定案
資料 4 就労支援部会活動計画
資料 5 生活支援部会活動計画
資料 6 白井市地域生活支援拠点令和 6 年度実績報告及び令和 7 年度事業計画

議 題：

- （1）会長及び副会長の選出について 資料 2
- （2）部会の設置について（部会員の振り分け、部会長の選出について） 資料 2
- （3）令和 7 年度地域自立支援協議会年間予定について 資料 3
- （4）各部会等の活動計画について 資料 4 資料 5
- （5）地域生活支援拠点令和 6 年度実績報告及び令和 7 年度計画 資料 6
- （6）その他

【委嘱状交付式】

変更等委員委嘱 交付

【白井市地域自立支援協議会会議】

自己紹介

島田委員：社会福祉法人フラット 相談支援事業所座ぐりの管理者。全障がい、子ども～成人の相談支援を行っている。

大網委員：にこにこ相談室で相談支援専門員を行っている、高齢や障がいに拘らず地域で生活するためには何が必要か考えながら業務にあたっている。

鈴木委員：レアーリ相談支援事業所で相談支援専門員をしている。対象は成人の精神障がい者。市の障害者計画策定委員等を行っている。

久保委員：社会福祉法人フラット 放課後等デイサービス ビリーブで管理者と児発管を行

っている。法人は子ども～成人まで幅広くサービスを展開している。

実松委員：みのりで管理者とサビ管を兼務している。個別支援計画の作成や利用者と生産活動を行っている。

高木委員：明朗アカデミー白井キャンパスで管理者をしている。就労移行支援と就労定着支援の事業を行っている、就労選択支援の事業も実施予定。

東坂委員：ワークルーチェの管理者、パンづくりや内職を行っている。

橋本委員：成田地域生活支援センターで管理者、計画相談や地域活動支援センターⅠ型と印旛圏域の「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の圏域コーディネーター。

石田委員：印旛保健所の相談員、今年度から参加させていただく。精神障がいのある方の緊急対応が中心の業務だが、皆様といろいろ考えていきたい。

高橋委員：昨年度まで八千代市の精神科病院で精神保健福祉士として勤務していた。今年度から市内のＡ型事業所に通所している。

野路委員：県立湖北特別支援学校に勤務している。掃除や清掃、パン作りなどの作業を行っている。

中村委員：今年度より教育支援課に異動となった、主の担当は就学相談と医療的ケア児の対応になる。

岡田委員：白井工業団地で事務局長をしている、工業団地の活性化や各種研修を実施している。

山本委員：社会福祉法人光明会 就職するなら明朗塾で施設長をしている。７市２町が管轄。成田空港の２０３０年問題で障害者雇用が３００～５００人くらい動くといわれている。協議会でもいろいろと考えていきたい。

小林委員：白井市手をつなぐ育成会より参加。会は本来知的障害者の親の会だが、白井市は小さな市なので肢体不自由の方の親や精神障がいの方の親も会員にいる。７／４に研修を行うのでぜひ参加いただきたい。

村松委員：精神障がい者の家族の会、年齢は様々。最近は配偶者なども会員にいる。

久松委員：発達に遅れのある未就学児の親、こどもがこども発達センターを利用したことのある親の会。いろいろと勉強がしたい。

秋本委員：社会福祉協議会で個別生活支援グループと日常生活自立支援事業を担当している。

川野委員：中核地域生活支援センターすけっとの所長を行っている。

議題１ 会長及び副会長の選出について 事務局

事務局より資料２に沿って説明。

▶承認

会長は、推薦により鈴木委員、副会長は推薦により小林委員。

<会長挨拶>

皆様のご推薦とご信任に心より感謝申し上げます。また長年にわたり協議会を会長として導いてくださった林前会長に深く敬意を表します。私たち協議会の使命は、障がい者の生活を支えるための地域の障がい福祉システムに作り、中核的な役割を果たすことにあります。困難事例への対応、ネットワーク構築、社会資源の開発改善など、その任務は多岐にわたります。令和 7 年度から、事務局機能が基幹相談支援センターに移管されました。これは単なる事務的な変更ではなく、より専門的かつ継続的な視点で、協議会運営がなされる重要な一歩だと考えています。ぜひ、皆様にはそれぞれの専門性を発揮していただくと同時に、時には別の視点からこの物事を見つめ、多様な意見を交わしていただきたいと思います。そうすることで、真に障がいのある方々のニーズに応える地域づくりができるはずです。どうか共に力を合わせ、誰もが安心して暮らせる白井市を目指して取り組んでまいりましょう。

議題 2 部会の設置について(部会員の振り分け、部会長の選出について) 事務局

事務局より資料 2 に沿って説明。

▶承認

就労支援部会部会長は、立候補により高木委員

生活支援部会部会長は、推薦により大網委員

会長：高木委員が就労支援部会の部会長と生活支援部会相談 WG の両方に入っているが、負担が大きくなるか？

事務局：全体会前に高木委員と話し、相談支援 WG にも勉強のために参加したい意向があったために名前を載せている。高木委員の意向でもあるので参加していただく。

議題 3 令和 7 年度地域自立支援協議会年間予定について 事務局

事務局より資料 3 に沿って説明。

▶承認

会長：昨年度までよりも部会開催の回数が若干増えているが説明をお願いしたい。

事務局：今年度から基幹相談支援センターに事務局が移管された、自立支援協議会の運営を形骸化せずにしっかりと回数もこなし地域課題を抽出・解決して障がいのある方もない方も暮らしやすい地域を作っていきたいという思いから回数を増加した。負担な面もあるがご協力いただきたい。

議題 4 各部会等の活動計画について 部会長

部会長より資料 4・資料 5 に沿って説明。

▶承認

事務局：追加説明ですが、6/2 に基幹相談支援センター主催・就労支援部会共催という形で「就労選択支援研修会」を開催する。

久松委員：就労支援部会においてイベント開催が複数回予定されているが、委員として出来ることがあれば教えていただきたい。

高木部会長：皆様お忙しいとは思いますが、ご協力いただきたい。また、相談 WG とのコラボレーションで出張相談会等も検討しているのでよろしくお願いします。

橋本委員：相談支援部会資料の資料に誤字がある、「精神障害者にも～」を「精神障害にも～」に訂正いただきたい。

事務局：訂正する。

会長：障害者福祉計画の進捗状況等で共有いただけることがあれば共有いただきたい。

事務局：昨年度基礎調査を実施し、今年度骨子を作成する。どんなことが望まれており不足しているのか等、各部会等で意見をうかがいたいと考えている。

議題 5 地域生活支援拠点令和 6 年度実績報告及び令和 7 年度計画 事務局

事務局より資料 6 に沿って説明。

▶承認

山本委員：地域生活支援拠点の説明等を可視化されたリーフレットのようなものはあるか？

事務局：作成していない、国が好事例集を作成した際に関わったが、地域生活支援拠点は概念的な物でもあるので好事例の中にも作成している自治体は少なかった。作成する際にはぜひご協力いただきたい。

会長：人材育成の出張研修を私が所属している法人で 6 月にお願いしている。身近なところで人材育成の機会を頂けることはありがたいので、ぜひ活用していただきたい。

議題 6 その他

<共有事項>

事務局：白井市基幹相談支援センターニュースレターの周知、虐待防止センターのチラシを周知、就労選択支援研修会を周知、出張研修のチラシを周知。

橋本委員：若者こころの集いのチラシを周知。

小林委員：発達気になるこどもの育ちを支える～価値観の転換～のチラシを周知。

山本委員：令和 7 年度第 1 回地域意見交換会～就労選択支援について～のチラシを周知。

以上